

2006年6月東北支部常議員会議事録

日 時：2006年6月27日（火）15:00-17:00

場 所：日本建築学会東北支部会議室

出席者：倉田、山田、大野、土方、大沼、氏家、西脇、横山、小澤、山畑

《資料》

資料1 2006年5月常議員会議事録

資料2 日本建築学会教育賞の位置づけ

資料3 みちのくの風2006秋田 開催報告

資料4 「作品選集2007」作品応募リスト

資料5 5月会計報告

資料6 支部事務機入れ換え報告

資料7 年間行事予定表

資料8 日本建築学会東北支部研究委員会細則

資料9 日本建築学会創立120周年記念事業作業所見学会について

資料10 第1回JIA東北住宅大賞2006後援依頼書

《議事》（敬称略）

1. 前回議事録確認〔資料1〕（大野）

- ・原案通り承認された。

2. 報告事項

(1) 理事会報告〔資料2〕（支部長）

- ・特色ある支部活動企画の採択結果が報告された。昨年度東北支部から応募されなかった（部会に投げ掛けたが応募がなかった）ようだが、他支部の採択結果をみると地域へのサービスを主体としたものでも良いようなので、もっと積極的に応募して欲しい。
- ・東北支部の会員は、正会員1317名、準会員14名、本部の法人会員14、支部法人会員60弱程度である。会費滞納者が49名除名されたが、除名前には納入ないしは退会手続きをとることが望ましい（大学などには事前に連絡が行っているはず）。
- ・代議員の地域別定数の見直し話し合われたが、現状維持となった。
- ・日本建築学会教育賞が新設された（詳細は資料2参照）。
- ・会員数は全体として下降傾向。短期的には40代が減少して50代が増加する傾向にある。

(2) みちのくの風2006秋田の報告〔資料3〕（山田）

- ・山形と比べて、資料集の部数は山形と同程度。印刷代は印刷所を変えるなどで30万程度減らすことができたが、秋田なので旅費は増加した。懇親会は若干黒字となったが以前よりも参加者は減少している。全体としては当初予算内に収まった。
- ・計画系のプログラムが招待講演と重なっていたが？→仮予約から本予約切り替えにトラブルがあって会場変更を余儀なくされ、そうせざるを得なかった。
- ・東北建築賞表彰者に対する受付時の懇親会の案内（有料）が伝わっていなかった模様。

- ・常議員は当日色々役割があるので、できれば司会を割り振らないで欲しい。
 - ・会長懇談会で120周年功労者表彰で支部推薦がなかったことが話題となった。また、功労者表彰などは年報に記載したほうがいいのではないかな。
- (3) 「作品選集 2007」応募結果の報告（事務局）
- ・19件応募があった。
- (4) 5月会計報告〔資料5〕（横山）
- ・原案通り了承された。
- (5) 支部事務機入れ換え報告〔資料6〕（事務局）
- ・事務経費削減のためコピー・プリンタを入れ替えたことが報告され、了承された。
- (6) その他（支部長）
- ・研究奨励賞などへの応募が少ないので、推薦をお願いしたい。
 - ・宮城県建築士会理事に氏家常議員を推薦した。
 - ・震災対策技術展の後援依頼が宮城県沖地震対策研究協議会からあり、了承した。

3. 審議事項

- (1) 年間行事予定及び役割分担について〔資料7〕（支部長）
- ・資料7記載の役割の他、下記の分担が決められた。
 - ・みちのくの風 2007 いわて 大野・大沼，相談役として山田
 - ・総会担当 土方
 - ・常議員会議事録 土方・大野
 - ・来年度の総会は5/19(土)，みちのくの風いわては6/16(土)-6/17(日)を予定。
 - ・みちのくの風いわてについては事務局から岩手支所に連絡するとともに、支所に協力してもらって会場探しを行う。
- (2) 支部研究部会助成金について〔資料8〕（支部長）
- ・今年度から新たに創設された支部研究助成費15万について、支部長から
 - ・部会長会議を開き、部会からテーマを募る。
 - ・該当するものがなければ、前年度の活動状況を見て、活発に活動している部会に配分するという方針が提案され、了承された。
- (3) 理事会への支部長代行者について（事務局）
- ・第一代行者が大野，第二代行者が土方常議員に決定した。
- (4) 作業所見学会について〔資料9〕（氏家）
- ・7/19の見学会の申し込み状況が芳しくないなので周知をお願いしたい。
- (5) JIA 東北住宅大賞後援名義使用依頼について〔資料10〕（事務局）
- ・下記の議論があり，本年度は認めることで了承された。
 - ・東北建築賞の小規模部門と対象が一緒に見える。お互いに潰しあうようになるとまずい。
 - ・今年度東北建築賞の要項から「地域特性に立脚した」を外したことでもあるし，一緒にはならないのでは。
 - ・本年度は認めることとし，対象がかちあうようなら棲み分けを考えるようJIAに申し入れてはどうか。
 - ・これに限らず，共催・後援・協賛などではプロシーディングスをもらうよう申し入れて欲しい。

(6) その他（支部長）

- ・ 建築雑誌で中国との関係についての特集号が予定されており，編集委員から支部長宛に記事にできるような活動があれば知らせて欲しいとの依頼があった。会員なら誰でもいいと思うので，該当するものがあれば事務局に連絡して欲しい。
- ・ 理事会報告にあったように，現在会員数は減少傾向にある。学会を活性化するために，学部生・大学院生の学会への参加を促す方法を考えていただきたい。以前は建築学生の大学間組織があり，活発に活動していたが，大学紛争でなくなってしまった。例えばみちのくの風への参加などでもいいので，メール等で事務局に連絡して欲しい。

以上

《次回の予定》

- ・ 総務会 7/21(金) 13:00-15:00 日本建築学会東北支部会議室
- ・ 常議員会 ネットワーク会議